

認定権者記載欄

様式第 5 - (ハ) - ①

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定による認定申請書 (ハ-①)

年 月 日

鞍 手 町 長 殿

申請者 住 所

事業所等名

代表者名 ⑩

私は、表に記載する業を営んでいるが、円高の影響により (注 2)、下記のとおり、 (注 3) が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)

※表には営んでいる事業が属する業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) を全て記載 (当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で最近 1 年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

(イ) 最近 1 か月間の売上高等

$$\frac{B - A}{B}$$
$$\times 100$$

減少率

% (実績)

A : 最近 1 か月間の売上高等

円 (注 4)

B : A の期間に対応する前年 1 か月間の売上高等

円 (注 4)

(ロ) (イ) の期間を含めた今後 3 か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B + D) - (A + C)}{B + D}$$
$$\times 100$$

減少率

% (実績見込み)

C : A の期間後 2 か月間の見込み売上高等

円 (注 4)

D : C の期間に対応する前年の 2 か月間の売上高等

円 (注 4)

(注 1) 本様式は、1 つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注 2) 本業とは別に、円高の影響による経営の安定の支障について具体的な内容を記載した書面を添付する。

(注 3) 「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注 4) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 鞍手町長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号の規定による認定書 (ハ-①)

鞍産商第 号

年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

・ 本認定書の有効期間 年 月 日から 年 月 日まで

鞍手町長

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

業種 (※ 1)	最近の売上高	構成比
業	円	%
業	円	%
業	円	%
全体の売上高	円	100 %

※ 1 : 業種欄には、営んでいる事業が属する全ての業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) を記載。細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。

※ 2 : 指定業種の売上高を合算して記載することも可

(表 2 : 最近 1 か月の売上高【A】)

企業全体の__月__の売上高	円
----------------	---

(表 3 : 最近 1 か月の前年同月の売上高【B】)

企業全体の前年__月__の売上高	円
------------------	---

(イ) 最近 1 か月の全体の減少率

$$\frac{【B】 \text{円} - 【A】 \text{円}}{【B】 \text{円}} \times 100 = \text{ \%}$$

(表 4 : 最近 1 か月の後の 2 か月の見込み売上高【C】)

企業全体の__月及び__月の売上高	円
-------------------	---

(表 5 : 最近 1 か月の後の 2 か月の前年同期の売上高【D】)

企業全体の前年__月及び__月の売上高	円
---------------------	---

(ロ) (イ)の期間を含めた今後 3 か月間の全体の売上高等の実績見込み

$$\frac{【B+D】 \text{円} - 【A+C】 \text{円}}{【B+D】 \text{円}} \times 100 = \text{ \%}$$

年 月 日

上記のとおり相違ありません。

申請者 住 所 _____

事業所等名 _____

代表者名 _____ (印)

【認定に必要な書類】 ※該当するものにチェックを入れ、必ず添付してください。(写しでも可)

① 業種の確認できる書類

☐ 許認可証 ☐ 履歴事項全部証明書 ☐ 会社パンフレット ☐ その他 ()

② 売上高の確認できる書類

☐ 月別の試算表 ☐ 売上元帳 ☐ 確定申告書 ☐ その他 ()